

写

2 飯教総発第 4 1 3 号
令和 2 年 9 月 4 日

飯能市議会議長 平沼 弘 様

飯能市教育委員会
教育長 今 井 直 己

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条第 1 項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和元年度事業）
別 紙

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和元年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	29
5 教育委員会の活動状況と評価	30
6 学識経験者の意見等	33
7 おわりに	34

令和2年8月21日

飯能市教育委員会

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、令和元年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

(1) 目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

(2) 点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、令和2年7月に、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

<学識経験者>

駿河台大学 経済経営学部教授 高垣 行男 氏

駿河台大学 経済経営学部教授 増田 珠子 氏

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、令和元年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

<令和元年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

基本方針

- I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。
- II 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。
- III 学校・家庭・地域と連携した教育に取り組みます。
- IV 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。
- V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

次ページ以降に記載の各重点施策の該当項目に、各所管が掲げている令和元年度の事業名と結果、達成率、評価等を表記しています。

評価の基準は下記のとおりです。

◇評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を（顕著に）下回る

基本方針Ⅰ 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。

施策1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 確かな学力の育成

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
 ◇ 新学習指導要領の実現に向け、「主体的・対話的で深い学び」を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた推進事業 【学校教育課】
目 標	「何ができるようになるか」を明確にした「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす授業づくりを創造し、児童生徒の学力向上を目指す。
結果及び成果	○学校指導訪問、校内研修支援等を通して、「学び合い」を核に主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を指導・支援した。 ○小中学校、どの授業を参観しても、「主体的・対話的で深い学び」をどのように実現していくかという、教員の授業改善への熱意を感じることができるようになった。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○学校研究を充実させるために、①校内で教科を超えて授業を見合うこと、②先進校視察や指導者の招聘をより精力的に行うこと、などを各校に働きかけていく必要がある。 ○指導主事自身も「学び合い」を核とする主体的・対話的で深い学びについて見識を深め、より積極的に各校の授業公開に出向くようにする。

◇ 学校の教育力を高めるための「学校研究」を充実させ、質の高い学びを保障する研修を進めます。

◇ K4の視点による研修システムを活用し授業改善を進めます。

- ② 学習状況を把握し児童生徒一人一人を伸ばす教育の推進
 ◇ 「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。
- ③ 学習習慣形成の推進
- ④ 小・中学校9年間を一貫した教育の推進
 ◇ 奥武蔵創造学園の小中一貫教育をモデルケースとして、系統性・連続性を踏まえた教育課程の編成を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 小中一貫教育の推進 【学校教育課】
目 標	9年間を一貫した児童生徒の育成を目指して、飯能市における小中一貫教育の取組を充実させる
結果及び成果	○今年度の教育課程をベースに、系統性や連続性をより意識した、9年間を見据えた教育課程へと改良することができた。 ○兼務発令による小中連携指導に加え、小中合同の校内研修を意識的に設定することにより、9年間で児童生徒を育成するという意識を共有することができた。
達成率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	○小中一貫教育に関する研究を継続、改善していくとともに、市教研研究発表（奥武蔵小）などを通して、市内他校区への波及と共有が図られるようにしていく。 ○兼務発令による小中連携指導、小中合同研修、次の一手を新たなものへの取組と質的拡充、双方向から検討する。

(2) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対する教育の推進

- ① 伝統と文化を尊重する教育の推進
- ② グローバル化の進展に対する力を育む教育の推進
- ③ 外国語教育の推進
 - ◇ 外国語活動支援員を活用した小学校外国語活動を進めます。

(3) 社会の変化に対応する教育の推進

- ① 教育の情報化の推進
 - ◇ タブレットPCの整備・活用など、ICTを活用した授業づくりを進めるとともに、児童生徒の情報活用能力、情報モラルの育成を進めます。
 - ◇ プログラミング教育の指導方法の工夫・改善の取組を進めます。
- ② 環境教育の推進
- ③ キャリア教育の推進
- ④ 特別支援教育の推進
 - ◇ 切れ目のない支援体制の構築に向けた幼保小と関係各課との連携を進めます。

(4) 生きる力の基礎を育む幼稚園教育の充実

- ① 少人数の良さを生かした教育の推進
 - ◇ 異年齢の交流を通して人と関わる力の育成を進めます。
- ② 恵まれた自然を生かした教育の推進
 - ◇ 園を取り巻く自然を生かした活動を進めます。

施策2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

- ① 道徳教育の推進
 - ◇ 「特別の教科 道徳」の充実に向けて、指導方法の工夫・改善を進めます。
- ② 読書活動の推進
- ③ 人権教育の推進
 - ◇ 各学校での全教育活動を通じた「思いやり」の心を育む教育の取組を進めます。
- ④ 教育相談活動の充実

⑤ いじめ・不登校対策の推進

◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 不登校の減少に向けた取組の推進 [学校教育課]
目 標	不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。
結果及び 成 果	○教育センターと学校間で連絡、連携を密にし、児童生徒が抱える課題を共有しながら支援に努めた。 ○スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの学校訪問により、該当児童生徒への支援や保護者への支援を行うことができた。 ○様々な要因が考えられるが、年間30日以上の上欠児童生徒数は増加した。学校・保護者・地域はもとより、関係機関との連携を図りながら、支援に努めていく。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	○授業をはじめとした学校生活の充実が不登校を減少させる一因になると考える。また、家庭環境を把握し、福祉と連携した支援に努めることも重要である。 ○教育と福祉の両輪で、不登校児童生徒やその家庭の支援を充実させるとともに、未然防止となる対策と、小さな変化を見逃さない目を養えるよう、研修を充実させる。また、初期対応の重要性を各学校に指導していく。

⑥ 生徒指導の充実

◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。【再掲】

(2) 体力の向上と健康の保持・増進

① 体力向上の推進と学校体育の充実

② 食育の推進

◇ 学校教育における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

③ 学校給食の充実

◇ 安心・安全でおいしい給食の提供に努めます。

◇ 給食調理業務の民間委託を全小中学校へ円滑に導入できるよう準備を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 学校給食運営事業 【教育総務課】
目 標	給食調理業務の民間委託を全小中学校へ円滑に導入できるよう準備を進める。
結果及び 成 果	○教育委員会への議案提出、市議会への報告を滞りなく実施することができた。 ○正規調理員に対する説明はより丁寧に行い、全員の了承を得ることができた。 ○実施計画及び令和2年度の予算計上も財政課と十分に調整しながら、円滑に、漏れなく計上することができた。 ○契約検査課と十分に調整しながら指名業者(案)を検討したり、業務委託の履行状況の評価結果を指名業者審査会で説明したりしたことで、これまでにないほど円滑に業者選定を行うことができた。 ○非常勤調理員に対する事業者説明会も円滑に開催することができた。
達 成 率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	○令和3年度に全て学校給食施設を民間委託とするため、引続き学校や関係各課と十分に連携を図っていく。 ○業務委託の履行状況の評価は、仕組みや評価基準などを引き続き検討する。

④ 学校保健の充実

施策3 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの推進

- ① 学習林活用教育の推進
 - ◇ 水と緑の学習とムーミンの理念を生かした教育を推進します。
- ② 小規模校・園の特色を生かした教育の推進
 - ◇ 恵まれた環境と少人数の良さを生かした一人一人を伸ばす教育を進めます。
- ③ 地域の特色を生かした教育の推進
 - ◇ 各地域の自然・歴史・施設・人材を生かした教育を進めます。
 - ◇ 施設隣接型小中一貫教育校をはじめ、地域の特色を生かした魅力ある新たな学校づくりについて検討します。
- ④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
 - ◇ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向けて、地域と一体となった学校づくりの準備を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置 【学校教育課】
目 標	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の設置に向けた準備と整備を行う。
結果及び 成 果	○庁内合意を図りつつ学校運営協議会規則を作成した。 ○校長研修会において複数回、学校運営協議会制度についての研修を行った。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○各校の教職員と保護者、地域の方たちに学校運営協議会制度についての理解を深めていただくことにより、地域力と学校力を相互に高め合う体制の構築を目指す。

- ⑤ 小・中学校9年間を一貫した教育の推進
 - ◇ 小中の連携から一貫への取組を進めます。
 - ◇ 奥武蔵創造学園の小中一貫教育をモデルケースとして、系統性・連続性を踏まえた教育課程の編成を進めます。【再掲】
- ⑥ 校種間連携の推進

基本方針Ⅱ 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。

施策1 学習環境の整備・充実

(1) 学校施設の整備の推進

① 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ◇ 経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 小学校施設管理事業 ・ 中学校施設管理事業 [教育総務課]
目 標	経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施します。
結果及び 成 果	○照明器具改修工事について、原市場小学校と原市場中学校の2件を実施した。 ○バスケットゴール落下防止対策工事は3件以上の予定であったが、学校運営において他に優先すべき課題が発生したことから、原市場中学校の1件を実施した。 ○コンクリートブロック塀等について、整備計画を作成し実施計画と予算要求をし、令和2年度に予算化された。(加治小、双柳小、西中、原中)
達成率	80%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	引き続き非構造部材の耐震対策として、バスケットゴール落下防止対策工事を小学校10校、中学校2校のうち点検結果から危険度・老朽を考慮し、計画的に実施する。

② 学校規模の適正化の推進

- ◇ 小規模校の今後の在り方の検討を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 小規模校の今後の在り方に関する検討 [学校教育課]
目 標	小規模校の今後の在り方に関する検討を推進し、教育環境を整備する。
結果及び 成 果	○喫緊の課題となる学校区において、市長部局とも連携を図りながら、地域との協議、保護者との協議を行い、課題解決の方向性を摸索することができた。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○まずは今後の方向性を定め、地域の方々、保護者と共有できるようにする。そのうえで、全ては子ども達のためであるという原点を忘れずに、可能な限り細部に渡って道筋を整えていくようにする。

(2) 学習環境の充実

① ICT環境の整備

- ◇ 多様な学習活動を展開するためタブレットパソコンの配置を進めます。
- ◇ 校務支援システムを導入し、校務の効率化を行い、児童生徒と向き合う時間の確保を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 ICT環境の整備をはじめとした働き方改革の促進 【学校教育課】
目 標	教職員の働き方改革を促進し、校務の効率化を図る事業を推進する
結果及び成果	○令和2年4月現在、依然として「飯能市立小・中学校の教師の勤務時間の上限に関する方針」を策定できていない。 ○いまだ検討中の部分はあるものの、長年の懸案であった校務支援システムを導入し、運用を開始することができた。
達成率	90%
評 価	B
課題と方向性	○「飯能市立小・中学校の教師の勤務時間の上限に関する方針」を策定するとともに、「教職員負担軽減検討委員会」の立ち上げを行う。 ○校務支援システムのより有効な活用方法について、市教委内の共有化を図り、教職員の負担軽減に向けた検討を続ける。

② 学校図書館・教材の整備充実

(3) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度の推進

- ◇ 奨学金の返還を促すための対策を講じ、昨年度より未納額を削減します。
- ◇ 学習環境の変化に応じた奨学金制度のあり方を検討します。

関連する事業 【部署名】	事業名 奨学金貸付事業 【教育総務課】
目 標	学生をとりまく学習環境の変化に応じた奨学金制度のあり方を検討する。
結果及び成果	令和元年度において、奨学金制度に対して高額の寄附があったことを契機に、関係各課と十分に調整しながら、奨学金基金を創設（奨学金基金条例の設置）し、奨学金貸与に要する経費の財源として充てていくこととした。 また、新たに入学時に要する費用に充てるための「入学一時金」を創設するとともに、毎月交付する奨学金の名称を「修学金」とするなど、奨学金貸与制度の改正を行った。
達成率	100%超
評 価	S
課題と方向性	奨学生が大学等卒業後の生活状況を確認するための仕組みづくり（奨学金を貸与したことの成果の確認）。

② 高額な通学費への支援

- ◇ 保護者の経済的負担を軽減するため、「飯能市高等学校等通学費補助金」制度を実施します。

関連する事業 【部署名】	事業名 高等学校等通学補助事業 【教育総務課】
目 標	保護者の経済的負担を軽減するため、「飯能市高等学校等通学費補助金」制度を実施する。
結果及び成果	○アンケート調査を実施し、現状の把握と、課題の分析に努めた。 ○消費税率の改定が行われたが、現行制度上で対応できることや、飯能市地域公共交通基本計画として実施する施策ということもあり、十分な協議、検討が必要なことから、制度改正は行わなかった。
達成率	90%
評 価	B
課題と方向性	○保護者の経済的負担の軽減と路線バスの利用促進という目的がある他方で、納税者に対する公平性の確保という点から考慮すると、単に経済的負担を軽減するために補助額を上乗せするというだけでは市民の納得は得られない。引続き、交通政策室と連携しながら、然るべき対策を研究、検討していく。

施策2 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

① 若手教員育成のための研修の推進

② 職責やライフステージに応じた研修の推進

- ◇ 学校教育アドバイザーによる指導・助言をとおして、教職員の資質・能力の向上を図る研修を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 学校教育アドバイザーの活用による教職員の資質向上の推進 【学校教育課】
目 標	質の高い学校教育を目指した教職員の資質向上を図る研修を実施する。
結果及び成果	○教育センターによる研修計画に則り、ライフステージに応じた研修会を実施することができた。また、年次研修だけでなく、学校の要請に応じて指導主事が訪問し校内研修を支援することもできた。 ○豊富な経験をもつ学校教育アドバイザーが小中学校を訪問し管理職と面談することにより、各校の実態把握と適切な助言をすることができた。
達成率	90%
評 価	B
課題と方向性	○学校研究を充実させるために、外部指導者の招聘がしやすいよう講師謝金等の予算確保に継続して努める。 ○学校教育アドバイザーによる指導・支援を中心として、管理職へのサポートを強化することにより、学校の教育力の向上と学校間の情報共有が図られるようにする。

③ 教育課題解決のための研修の推進

- ◇ 教育相談、特別支援教育等教育課題に応じた研修を計画的に進めます。

④ 外部機関との連携による研修の推進

⑤ 飯能の特色を生かした教育のための研修の推進

- ◇ 郷土飯能を愛する児童・生徒育成のため、飯能を理解・体験・活用する研修を計画的に進めます。

基本方針Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます。

施策1 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

① 家庭教育学級の充実

◇ 関係機関や地域団体と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 <p style="text-align: center;">家庭教育学級等の開催</p> <p style="text-align: right;">[公民館]</p>
目 標	家庭教育の支援のため、関係機関や地域団体等と連携し、家庭教育学級を開催する。
結果及び成果	各公民館で、学校、PTA、青少年健全育成の会と連携して様々な事業を開催した。助産師による中学校での育児体験学習を通じて、「いのち」の話の講演を行った。地域や学校、PTAと連携して多くの人も参加してとても有意義な講演会を開催できた。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	小中学校、健全育成会の会、PTAなどと連携して更なる参加者の増を目指したい。

施策2 地域の教育力の育成

(1) 地域活動との連携

- ① 各種団体や事業者との連携による職業体験、ボランティア体験などの機会の充実
- ② 地域イベントへの子どもの積極的な参加
 - ◇ 駿河台大学、飯能商工会議所、飯能信用金庫と連携して、子どもの好奇心や生きる力、郷土を愛する心を育てる「子ども大学はんのう」を開催します。

(2) 地域活動への支援

- ① 社会教育機関による地域の教育活動支援

施策3 学校と家庭、地域社会との連携

(1) 学校・家庭・地域の連携

- ① 家庭や地域への学校行事等の情報提供
 - ◇ 学校だより等を活用した地域への情報発信を進めます。
- ② 学校評議員制度や学校応援団との連携による教育活動の推進

③ 学習習慣形成の推進【再掲】

④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進【再掲】

- ◇ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向けて、地域と一体となった学校づくりの準備を進めます。【再掲】
- ◇ 児童虐待等の防止に向けて、関係各課をはじめ、学校・家庭・地域と連携して児童虐待の防止等に関する施策を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 虐待等防止に向けた庁内組織の編制と対応施策の整備 【学校教育課】
目 標	虐待等防止に係る庁内組織の編制と防止施策を推進する。
結果及び成果	○「児童虐待対策に関する庁内会議」の立ち上げに向けて、健康づくり支援課、子育て支援課、障害者福祉課、地域活動支援課等と連絡調整を複数回行った。 ○その後も1年間を通して、随時、健康づくり支援課や子育て支援課等他課との連携を図り続けた。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	○組織として「児童虐待対策に関する庁内会議」を立ち上げて安定化を図るか、元年度同様に健康づくり支援課、子育て支援課との実効性のある連携を図るか、検討する。

- ◇ 奥武蔵小学校において、放課後子ども教室事業を実施します。地域の方々をはじめ、学校・児童クラブ・公民館などと連携し、子どもたちが地域のなかで心豊かに育まれる環境づくりを推進します。

関連する事業 【部署名】	事業名 放課後子ども教室開設事業 【生涯学習課】
目 標	奥武蔵小学校で9月から放課後子ども教室を開設する。
結果及び成果	市内で初めての放課後子ども教室の開設となったが、計画どおり9月から開設することができた。多くの方や団体の協力により、子どもが楽しめるプログラムを準備することができた。 プログラムにより若干の増減はあるものの、各回38名前後（全校生徒の約50%）の参加者があり、関心の高いプログラムが準備できたと思う。 新型コロナウイルス感染症の広がりにより、3月の放課後子ども教室は中止としたため、全体では16回の開設となった。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	保護者のアンケートからは学習よりも遊びや体を動かすことへの要望が多かったため、令和2年度のプログラムは、アンケート結果を考慮して実施していきたい。 また、この事業を担える団体を地域に育む必要があり、その準備も同時に進めていく必要がある。

- ◇ 公民館と連携し、夏休み期間などを活用した子どもの学習支援事業を実施します。

基本方針Ⅳ 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。

施策1 多様な生涯学習の推進

(1) 生涯学習機会の充実

- ① 駿河台大学との連携
 - ◇ 市民の豊富な好奇心に応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。
- ② 多様な学習機会の充実
 - ◇ 子どもから高齢者までが参加する生涯学習フェスティバルを開催し、サークル活動及び学習活動の発表を通じて、サークル活動等への参加機会を提供します。
- ③ 生涯学習情報の収集及び発信
 - ◇ 市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。
 - ◇ 市のホームページ、広報等を活用し、生涯学習に関する行事予定や成果報告などを積極的に発信します。
- ④ 人権に関する学習機会の充実
 - ◇ 様々な人権問題についての理解を深めるため、地域で人権意識の高揚と啓発を図るための研修会を開催するとともに、人権教育の成果をまとめた冊子を発行し、地区行政センター等に配置します。

(2) 青少年の健全育成

- ① 関係団体との連携
 - ◇ 青少年育成飯能市民会議と連携して、青少年が広い視野に立って物事を考え、発表する力を養うための「少年の主張大会」や家庭での家族のふれあいをテーマにした「家庭の日ポスターコンクール」を開催します。
 - ◇ 青少年育成飯能市民会議、飯能市青少年育成推進員会、飯能警察署等と連携し、非行防止対策事業を実施します。
- ② 世代間交流の推進
 - ◇ 生涯学習フェスティバルの中で、世代間交流を推進できるイベントを企画します。
- ③ ボランティアの育成と活動支援
 - ◇ 地域の子ども会行事活動に協力する青少年相談員協議会の活動を支援します。

施策2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存・活用

(1) 市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

- ◇ 市民の文芸創作活動を促し、市民文化の向上を図るため文藝飯能を刊行します。
- ◇ 文化の振興のため、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業 【部署名】	事業名 生涯学習フェスティバル開催 【生涯学習課】
目 標	市民会館を会場に、文化の振興のため市民会館と提携し、共催事業として「生涯学習フェスティバル」を開催する。
結果及び成果	前年度休止したにもかかわらず、展示・体験学習・講演等多くの参加団体により盛大に行われ、来場者数も860名となった。 市民会館との共催事業としたことで、会場である市民会館を有意義に活用したフェスティバルとなった。
達成率	90%
評 価	B
課題と方向性	アンケートの回収率が低かったため、今後は回収率を増やす工夫と、実施方法の見直しや改善を行い、アンケートの満足度を70%に上げることを目指す。 熱心な参加団体がとても多いため、今後は人員や予算を考慮し、各参加団体との調整を密に行い、事業の方向性を決める必要がある。

② 市民主体による活動の支援

- ◇ 郷土芸能保存団体による継承活動の支援や郷土芸能フェスティバルを通じて、技術の向上や後継者の育成を図ります。
- ◇ 郷土芸能フェスティバルの開催などにより、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供します。

(2) 歴史・文化遺産の継承と活用

① 指定文化財の保存と活用

- ◇ 文化財保護意識を高めるため、文化財めぐりや文化財講座等の普及・啓発事業を実施します。
- ◇ 文化財の適正な保存を推進するため、劣化等により補修が必要となった指定文化財の修理を行います。
- ◇ 市のホームページを活用し、指定文化財を説明するページを充実させ、広くその魅力を発信します。

関連する事業【部署名】	事業名 市民に向けた文化財情報普及活用事業 【生涯学習課】
目 標	ホームページは市民の皆様が文化財を知る最初のきっかけとなるように内容を充実し、見やすくわかりやすいホームページに変更する。 掲載記事は、最新の情報になるように更新を心掛ける。 埋蔵文化財についても、発掘調査現場での説明看板設置や、市民に遺跡情報を知ってもらう取組を行う。
結果及び成果	ホームページに関しては、指定文化財の情報を充実させ、刊行物の頒布情報を新たに掲載した。獅子舞などの郷土芸能の実施予定日も一覧にして掲載するなど、情報を多岐にわたり充実させることができた。また、関係課との連携事業として、図書館との共催により埋蔵文化財資料を利用した「報告書の読み方」を開催できた。 埋蔵文化財の調査情報については、新たな情報を掲載することができなかった。
達成率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	情報としての発信が少ない埋蔵文化財について、発掘調査の成果だけでなく室内調査の成果もホームページで情報発信する取組を行っていきたい。また、昨年度好評であった図書館との共催事業についても、第2弾を検討していきたい。

② 埋蔵文化財の調査と活用

- ◇ 開発行為等により影響する埋蔵文化財の試掘・発掘調査を円滑に進めるため、事業者と調整を図ります。

関連する事業【部署名】	事業名 埋蔵文化財発掘調査事業 【生涯学習課】
目 標	区画整理事業等、市の開発事業に伴う発掘調査や民間の開発事業に伴う発掘調査件数が多い中で、的確かつ効率的に調査を実施する。併せて発掘調査後に行う室内調査についても、計画的な実施に向けて各種調整を密に行い取り組んでいく。
結果及び成果	公共事業の発掘調査・室内調査については、共に予定された調査・期間に実施することができた。個人住宅に伴う調査など、年度当初に予定できない調査についても、事業主の意向を踏まえながら遅滞なく調査に着手できた。 開発計画を事前に把握するために、庁内の関係各課との情報共有を行い、相互に必要な情報を早期に提供できるような仕組みができつつある。 発掘調査が少ないときには、文化財発掘調査員を文化財室内調査員に充てるなど機動的な人員配置により業務が遂行できた。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	年間の業務量をいかに早い段階で把握ができるかにより、計画的に調査を実施することが可能となるが、公共事業以外の調査については、事前把握が難しく、景気の動向などに影響されやすく開発行為にも増減があるため、計画を立てる難しさがある。 所属している人員を適正に配置できるグループをつくり、事業にすぐ取りかかれる準備態勢を整え、取り組んでいきたい。

- ◇ 埋蔵文化財の発掘調査場所において、実施状況を記した案内板を設置し、普及・啓発活動を図るとともに、市のホームページを活用して、埋蔵文化財の発掘調査成果の情報提供に努めます。
- ◇ 埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、出土品の展示や貸出し、出張講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受入れなど積極的に実施します。
- ③ 歴史・文化遺産の調査と活用
 - ◇ 地域に残された歴史・文化遺産について調査を実施するとともに、貴重なものについては保存・活用に向けた検討を行います。

施策3 学習活動支援と地域の魅力発信

(1) 図書館サービスの充実

① 資料・情報提供の充実

- ◇ 「第2次飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、他課や、博物館等関係機関と連携し情報提供を行います。

関連する事業 【部署名】	事業名 資料・情報提供の充実 [図書館]
目 標	「第2次 飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、他課や博物館等関係機関と連携し情報提供を行う。
結果及び 成 果	○新たな本との出会いにつながる資料展示を18回実施した。 ○庁内組織と連携した展示を8回、事業を21回実施した。 ○いずれも目標値を上回った。
達 成 率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	庁内組織と連携したもののうち、資料展示の3回、事業の4件が今年度新規に実施できたものである。引き続き、関係各課、機関と連携した事業を推進できるように調整していきたい。

- ◇ 平和都市宣言に関連した資料展示等を実施し、平和に関する情報提供を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 平和都市宣言に関連した資料・情報の提供 [図書館]
目 標	平和都市宣言に関連した資料展示等を実施し、平和に関する情報提供を進める。
結果及び 成 果	○資料展示として4・5月に「児童書から平和を考える」、6～8月に「ヒロシマ・ナガサキの原爆に関する資料」の計2回を実施した。 ○事業としては8月、9月に平和都市宣言記念映画会を2回実施し、のべ148人の参加者があった。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	展示実施回数が目標値をやや下回ったが、展示、事業とも見学者から好評だった。引き続き、市の方針や目標に沿った図書館でできる事業を実施していきたい。

② 課題解決支援サービスの充実

- ◇ 課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 課題解決支援サービスの充実 [図書館]
目 標	課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援する。
結果及び 成 果	○情報を活用する講座として7月6日に法務セミナー、12月7日に初心者向けのタブレット講座を開催し、いずれも参加者の8割以上に好評だった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	オンラインデータベースの利用がまだ少ないため、その利用促進を図る事業を意識的に実施する必要がある。また、職員がオンラインデータベースの操作に慣れるようにする。

③ 市民との協働による図書館運営の推進

- ◇ 図書館ボランティアと事業を実施し、市民との共同による図書館運営を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 市民との協働による図書館運営の推進 [図書館]
目 標	図書館ボランティアと事業を実施し、市民との協働による図書館運営を推進する。
結果及び 成 果	○図書館ボランティアとの活動集会を毎月開催した。 ○図書館ボランティアや読書団体等と協働で、映画会を12回、おはなし会を22回実施した。 ○ボランティアが主体となって、郷土の民話の紙芝居を作成した。また、来年度、ボランティアが主体となる「図書館まつり」の開催を計画し、準備をはじめた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○ボランティアの方々が非常に意欲があるため、そのモチベーションを維持し、職員との信頼関係を保てるように配慮する。 ○市民とともに図書館運営をしていくという視点から、積極的にボランティアとの意見交換をすすめていく。

(2) 読書活動の推進

① 生涯にわたる読書活動の推進

- ◇ 図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催します。

関連する事業 [部署名]	事業名 子どもから大人まで各世代にわたる読書活動の推進 [図書館]
目 標	図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催する。
結果及び 成 果	○図書館閲覧室でのミニコンサートである「ことばと音のコンサート」を4回実施した。 ○図書を積載したワゴンの派遣は2回だったが、今年度初めてウォーキング講座を2回開催できた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○引き続き、図書館の資料・施設・サービスを活用し、幅広い人が図書館に来てもらえるような事業を展開できるように配慮する。 ○実施する際は、関係機関や庁内組織との連携を図る。

② 学校等教育機関と連携した読書活動の推進

- ◇ 「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校等と連携し子どもの読書活動を推進するための取組を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 学校等教育機関と連携した読書活動の推進 [図書館]
目 標	子どもが本に親しみ、読書習慣が身に付くように、学校等と連携し子どもの読書活動を推進するための取組を実施する。
結果及び 成 果	○調べ学習に適した「調べ案内（パスファインダー）」（点字について調べよう！・姿を変える食べ物）を発行した。 ○本や図書館に親しんでもうため、10団体（新規2団体）へ出向き、11団体（新規3団体）は図書館に来館してもらい、のべ約2,300人に対し読み聞かせ等を実施した。 ○飯能第一小学校の図書主任と調整を図り、図書の展示等を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施することができなかった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○保育所、学校との連携をさらに深めていく。 ○飯能第一小学校との連携事業を実施できるように留意する。

- ◇ 奥武蔵小学校図書館の充実を図るとともに、学校図書館の地域開放を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 奥武蔵小学校図書館の充実 【図書館】
目 標	奥武蔵小学校図書館を開設し充実を図る。
結果及び 成 果	○システムや図書の整備をすすめ、1月から一般職非常勤職員を配備し、業務を開始した。 ○児童や教師に対して、充実した読書案内や読書指導ができるようになった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○子どもが本に親しむ場となり、教師が教材研究できるような機能をさらに充実させる。 ○地域の実情に即した地域開放を実現する。

(3) 公民館活動の充実

① 地域課題を捉えた事業の充実

- ◇ 地域課題を捉えた、健康づくりや防災・防犯に関する事業、交流人口の増加につながる事業や地元の公共交通機関を利用した事業を実施します。

関連する事業 【部署名】	事業名 地域課題を捉えた事業の充実 【公民館】
目 標	地域課題を捉え、健康づくりや防災防犯に関する事業、交流人口増につながる事業や地元の公共交通機関を利用した事業を実施する。
結果及び 成 果	ウォーキング事業、地域野菜を利用した料理教室など健康づくり事業を実施した。 地域防災講座「自然災害に備える」、「地域の自然災害を考えよう」、「特殊詐欺にあわないために」などを開催した。地域防災講座は、台風などの災害に対する認識の向上や実際の災害に直面し役立った。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	ウォーキング事業は、新たなコースを考え実施する。

- ◇ 地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域団体や関係機関と連携した事業の推進 [公民館]
目 標	地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施する。
結果及び 成 果	鳥獣被害対策室と連携して、「電気柵設置実演講習会」、「アライグマ捕獲従事者研修会」、「猿追い講座猿から作物を守る」を行った。鳥獣から作物を守ることが良く理解できたという声が多かった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	鳥獣被害については、山間地区を中心に地元自治会などと連携して行うようにする。まちづくり推進委員会や地域福祉組織などと連携して開催していく。

② 情報発信の充実

- ◇ 生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図ります。また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信し、情報の「見える化」を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 情報発信の充実 [公民館]
目 標	生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図る。 また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信する。
結果及び 成 果	毎月1回、地区行政センターだよりを発行した。飯能市ホームページ、飯能アプリ、フェイスブックの活用、生涯学習フェスティバルでの事業紹介を行い事業や地域の情報発信を行った。館内に事業報告を展示し、「見える化」を図った。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	今後も継続して地域情報を発信し、地域の活性化と事業の参加者増加を図っていきたい。

③ 学習活動の支援

- ◇ 学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援します。また、さまざまな文化活動、体験活動を通して子どもの学習支援を行います。

関連する事業 【部署名】	事業名 学習活動支援 【公民館】
目 標	学習活動に必要な情報収集の支援をするとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援する。また、さまざまな文化活動、体験活動を通して子どもの学習支援を行う。
結果及び 成 果	子どもたちが学習できる場として、会議室を提供した。教員OBの先生にお願いして「みんなの自習室」を開催し、子どもたちの学習支援を行った。出前講座を利用して交通安全教室を開催した。「太極拳」「ヨガ」などグループ活性化の事業を開催した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	子どもたちの学習支援として、継続して行う。出前講座は、更に多く利用するようにする。

(4) 博物館活動の充実

① 地域の情報センター機能の充実

- ◇ 古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。

関連する事業 【部署名】	事業名 収蔵資料の整理 【博物館】
目 標	新たな地域の魅力を発信するために地域の資料を収集し、それらから新たな地域の魅力を引き出して、多くの人々が利用できるようにするため、収蔵資料の整理を推進する。
結果及び 成 果	平成30年度に購入した文書、中山忠三九家（稲荷町）など23の史料群262点の整理を行ったが、目標としていた300点には及ばなかった。 古写真は175点のカードを作成した。また民具の再整理は、一般収蔵庫の棚を清掃し、資料の確認をしながら新たなスペースを生みだし、デジタルカメラでの撮影を371点行った。いずれも目標を大きく上回った。
達 成 率	95%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	引き続き着実に整理を進めていき、地域の新たな魅力を引き出していきたい。

- ◇ 飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンターとして、情報発信機能を充実させ、都市回廊空間の回遊性向上に努めます。

- ② 市民、小中学校、大学、他の教育機関等と連携した博物館活動の推進
- ◇ 図書館、市民会館と連携した事業を実施します。
 - ◇ 新学習指導要領の内容に対応した小学生の見学プログラムを開発し、市民学芸員とともに質の高い学習活動を支援します。

関連する事業【部署名】	事業名 小学3年生社会科見学対応プログラムの作成 【博物館】
目 標	学校と連携し、小学3年生の新たな社会科副読本の内容に則したプログラムを開発し、市民学芸員とともに博物館における児童の質の高い学びを支援する。
結果及び成果	新たな学習指導要領に基づいて作成された小学3年生の社会科副読本中の「市のひとつのくらしのうつりかわり」の単元に準じたプログラムを、教育センター指導主事や社会科副読本編集委員の先生方よりご教示をいただきながら、市民学芸員とともに作成した。それに基づき1月から2月にかけて見学を受け入れ、ほとんどの学校より満足との回答をいただいた。
達成率	95%
評 価	B
課題と方向性	今年度実施した結果を基に改善を加え、今年度さらに充実したプログラムにしていくことが大切である。

- ③ 施設の充実と職員の専門性の向上
- ◇ 収蔵スペースの確保や利便性の向上などを図り魅力ある博物館づくりに努めます。
 - ◇ 博物館の学芸員としてふさわしい専門知識、技能を向上させるため、各種の研修、研究会に積極的に参加し、組織内での成果の共有を図ります。

(5) 地域の魅力発信

- ① 地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援
- ◇ 新たな常設展示を地域の魅力発信の拠点とするため、現地に人を誘うためのマップやリーフレットを作成し、スマートフォン等を利用した館内案内システムの充実に努めます。
 - ◇ 調査研究によって地域の新たな魅力を掘り起こし、それを特別展の開催により発信し、個性豊かで活力のある地域づくり・人づくりに取り組んでいきます。

関連する事業【部署名】	事業名 特別展「飯能の名宝」の充実 【博物館】
目 標	調査研究によって地域の新たな魅力を掘り起こし、それを特別展の開催によって発信し、個性豊かで活力のある地域づくり・人づくりに取り組む。
結果及び成果	特別展「飯能の名宝」は、41日の会期中、7,578人の入館者があり、1日平均で184.8人であった。これは目標を大きく上回り、平成2年度の開館以来5番目に多い数値であった。また、アンケートでは80.4%が満足と回答し目標に達した。多くの方に地域に存在する文化財を通じた文化・歴史について再認識していただいた。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	特別展のテーマについては、広い世代に興味をもってもらえるようなものを選んでいく必要がある。

- ◇ 平和都市宣言に関連した展示会を行うことで、先人たちの知恵や教訓を現代、未来に活かしていくことに努めていきます。

関連する事業 【部署名】	事業名 平和都市宣言記念「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」展の充実 【博物館】
目 標	平和都市宣言に関連し、世界の恒久平和に貢献するためヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展を開催し、先人たちの知恵や教訓を現代に活かす。
結果及び 成 果	7月14日から8月25日までの37日の会期中、5,214人の入館者があった。このうち、97%は飯能市が平和都市宣言を制定したことを知っており、89%がその趣旨を理解できたと回答し、目標を上回った。また通常の展示会と異なり、小・中学生が20%、20～40歳代が25%を超え、若い世代の来館が多かった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	令和2年度実施予定のヒロシマ・ナガサキ原爆展も併せて、多くの方に本市の平和に対する強い決意を理解していただくことが重要である。

- ② 「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Metsä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出

- ◇ ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、その情報発信に努めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Metsä（メツァ）」 を活用した新たな魅力の創出 【図書館】
目 標	ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、その情報発信に努める。
結果及び 成 果	○国際交流協会との共催による講演会「フィンランドってこんな国」、および、環境フェスタでのムーミン・フィンランドに関する本の展示を実施し、フィンランドに対する理解を深めることができた。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	引き続き、ムーミンやフィンランドに関する資料収集に努め、多くの世代に対してその魅力を伝えられるような講座、資料展示をさらに充実させる。

③ 飯能河原・天覧山周辺の魅力の発信

◇ 飯能河原・天覧山周辺の自然の魅力を多くの人に知ってもらうため、関係団体と連携しながら、博物館を拠点とした観察会等を実施します。

関連する事業 【部署名】	事業名 飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実 [博物館]
目 標	当館がリニューアルオープンし、周辺の自然も魅力を発信する拠点となったことをアピールするため、飯能河原・天覧山周辺の自然の観察会等を実施する。
結果及び 成 果	飯能河原・天覧山周辺の自然の観察会は、6月・7月・9月（2回、うち1回は埼玉県立自然の博物館と共催）の計4回実施した。このうち6月は20名募集のところ12名、7月は20名募集のところ8名、9月21日は20名募集のところ6名、同月28日は30名募集のところ25名といずれも参加者が定員に達しなかった。しかしアンケートではすべての会で満足とする人の割合がほぼ100%であった。
達 成 率	80%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	4回のうち、1回目（6月）はほぼ定員に達していたが、当初予定していた日が雨天だったため、実施を延期したことによって参加者が減少した。それを勘案しても申し込み状況は芳しくなく、内容や開催時期、周知の方法などについて改善、試行していく必要がある。

基本方針V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

施策1 健康で元気に暮らすための事業の充実

(1) 地域と連携した活動の推進

① 健康づくり事業の展開

- ◇ NPO法人飯能市体育協会におけるコーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 コーディネーショントレーニングの推進 [スポーツ課]
目 標	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。
結果及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ○飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会を年7回開催し協議を行った。 ○体験会並びに学ぶ会（体育協会主催）を年各2回（6月22日体験会20人・学ぶ会19人/11月30日体験会14人・学ぶ会20人）開催。 ○JACOT認定ライセンスセミナーはR2.2.29に駿河台大学で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。 ○保育所巡回教室を9保育所で開催し、延べ891人が参加した。また、見学会を1回（5月）実施し、延べ11人が参加した。参加した子ども達の集中力の変化がみられる。また、ペアになって運動するため、コミュニケーションが取れ協調性が生まれたという報告を受けている。 ○奥武蔵小学校では、朝マラソン時にコーディネーショントレーニングを行った日は、保健室の利用率が下がったなどの報告を受けている。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	<p>コーディネーショントレーニング（COT）を推進していく中で、保育所・奥武蔵小学校の先生方が体験会等に多く参加し、熱心に質問等も行われていた。</p> <p>先生方の体験やライセンスの取得等の推進を行い、児童・生徒の運動指導の実践につなげていきたい。</p> <p>「保育所巡回コーディネーション教室」、「道場」や「体験会・ベーシック・コーディネーション実践講座」を開催するとともに、奥武蔵小中学校でのCOT導入など幅広く推進していく。</p>

② ウォーキングのまち飯能の推進

- ◇ 市民の健康維持、健康意識の高揚を図るため、市内9地区のウォーキング大会をNPO法人飯能市体育協会に委託し、『市民健康ウォーク大会』として開催します。
- ◇ 埼玉県コバトン健康マイレージを新たに活用し、健康ウォーキング人口の裾野を広げていきます。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ◇ 関係団体と連携し、安全で効率的な大会運営を行います。参加者だけでなく主催者側もワクワクし満足する大会とします。市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

- ◇ 北欧のライフスタイルを体験できるメッツァビレッジを通過するコースを設定するなど、飯能市の魅力をウォーカーに発信していきます。

第17回飯能新緑ツーデーマーチ

大会期日：令和元年5月25日（土）・26日（日）

② 奥むさし駅伝競走大会

- ◇ 歴史と伝統ある奥むさし駅伝競走大会を関係団体と連携し、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

第18回奥むさし駅伝競走大会

大会期日：令和2年 1月26日（日）

- ◇ 第62回奥武蔵中学校駅伝競走大会を開催します。

大会期日：令和元年12月 7日（土）

関連する事業【部署名】	事業名 既存イベントの充実 (第17回飯能新緑ツーデーマーチ・ 第18回奥むさし駅伝競走大会・ 第62回奥むさし中学校駅伝競走大会) 【スポーツ課】
目 標	既存イベントの充実を図り、参加者に満足してもらえるような魅力ある大会を実施する。 関係団体と連携を密にして、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えする。 参加者だけでなく主催者側もワクワク満足する大会を開催する。
結果及び成果	<p>《第17回飯能新緑ツーデーマーチ》 R1.5.25（土）・26（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の反省点を考慮し、コース下見を実施し、コース設定を行った。 ○統括部会や実行委員会等で協議を行い開催した。参加者19,537人 事故なく終了したが、暑さにより体調を崩された方がいたため、救急車両を数回依頼した。 <p>《第18回奥むさし駅伝競走大会》 R2.1.26（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○警察や関係団体等と競技内容や安全対策について協議を行った。 <p>第15回大会から10チーム増やした230チームでの募集を行い、それ以上の参加申し込みがあった。当日は220チームが参加し、大会新記録が多く出た大会であった。 【当日参加】高校の部…68チーム、一般の部…152チーム、合計…220チーム</p> <p>《第62回奥むさし中学校駅伝》 R1.12.7（土）中止 台風19号の影響に伴い、コース確保ができないことにより中止とした。</p>
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	飯能新緑ツーデーマーチにおいては、年々この時期、暑さが増す状況であるため、十分な熱中症対策を図る必要がある。 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止としたが、次年度の開催については、新たなツーデーマーチとして取組を行う。 駅伝については、引き続き参加者の安全第一を考慮し開催する。

③ 新たなスポーツイベントの検討

- ◇ 飯能市の豊かな自然、地形を生かした新たなスポーツイベントの協力を行います。
- ◇ 「北欧のライフスタイルを体験できるゾーン メッツァビレッジ」付近でのイベント開催の協力を行います。

(3) スポーツ環境の整備・充実

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ◇ NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各競技団体と地区体育協会のほか、スポーツ少年団、レクリエーション協会等の活動を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 各種関係団体との支援及び連携 [スポーツ課]
目 標	飯能市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。
結果及び成果	○各関係団体との会議を計画的に開催し、団体との連携強化・情報の共有化が図られた。 ○飯能市体育協会の理事会（年7回）、総会、加盟団体長・理事長会議などに出席し、意見交換など情報等の共有を行った。 ○飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を12回（月1回）開催した。 ○スポーツ少年団本部員会を4回開催し、子ども達の指導方法・安全対策について情報共有を行った。 ○各関係団体と情報の共有化が図られるとともに、連携・協力体制が図られた。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	スポーツ課の事業においては、関係団体並びに関係者等の協力・連携が必要となることから、日頃から信頼関係を構築していく必要があるため、関係団体の会議等には積極的に参加していくこととする。

- ◇ 全国大会出場などの選手及び団体へスポーツ奨励金を交付します。
- ◇ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、関係団体等と連携し応援します。

② 市民ニーズに即応したスポーツ教室等の開催

- ◇ 市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツ大会等を事業委託して開催します。
市内競技団体によるスポーツ教室の開催
第68回市民体育祭（27競技団体）及び地区体育祭（9地区）
第38回市民レクリエーション祭（5団体）
- ◇ プロ野球やプロサッカーチーム等と連携したスポーツ教室等を開催します。

③ ホッケーのまち飯能の推進

- ◇ 「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、ホッケーのまちづくりを推進します。

市内全中学校における保健体育科授業での必修化を継続します。

ホッケーのまち飯能推進事業を飯能ホッケー連盟に委託し、スポーツ少年団・中学生の強化及び支援を進めます。

飯能ホッケー連盟に大会補助金を交付し、第28回関東中学生新人ホッケー大会を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 ホッケーのまちづくりの推進 [スポーツ課]
目 標	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。
結果及び成果	○巡回ホッケー教室の開催 小学校：12校（約2,000人）、中学校：8校（全校で開催）・中学生放課後クラブ（飯能Jr）（約5,000人）が参加しており、参加した小学生の中から飯能Jrに登録しホッケーに取り組んでいる児童もいる。 ○「HOCKEY通信」などを発行し、ホッケー選手・競技についての紹介やホッケーに興味を持ってもらうためのPR活動を行った。 （東京オリンピック候補選手の特集のチラシを小中学校の児童生徒に配布するなど）
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	「ホッケーのまち飯能」を推進していくため、関係団体や学校の先生方と連携し、情報共有を行いホッケー人口を増やしていく必要がある。 「HOCKEY通信」については、飯能出身者などの活躍を掲載し、子ども達に夢をもってもらえるような内容での発行を行う。

施策2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

(1) スポーツ施設の安全点検とサービスの向上

① 指定管理者との連携

- ◇ 都市公園運動施設のサービスの向上、円滑な管理運営を行うため、指定管理者と連絡調整を行います。
- ◇ 指定管理者の職員の質を高く維持しつつ、接遇の面でも市民サービスを重視した意識を確保します。
- ◇ 指定管理者の積極的な自主事業の実施に向けて協議を行います。

② 施設の計画的な修繕

- ◇ スポーツ施設の安全な運営を確保するため、定期的な施設点検を行い、指定管理者や関係部署と協議し、修繕を行います。
- ◇ 阿須運動公園ホッケー場・美杉台公園多目的グラウンドの人工芝について、早期の張り替えに向けて関係課等と協議します。

③ 利用者のサービス向上

- ◇ 指定管理者と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性の向上を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 都市公園運動施設の指定管理 [スポーツ課]
目 標	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。
結果及び 成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者である飯能市体育協会・太平洋総業サービスと必要に応じて協議・検討を行った。 ○施設の安全点検や修繕箇所の確認を行い、PCB変圧器の取替工事・メインアリーナの音響設備改修工事・メインアリーナの床修繕などを行った。 ○小さい子どもが利用できるキッズルームを体育館入口脇に設置した。 ○道路公園課と連絡を取り合い、公園内の工事や修繕について情報共有し対応した。 ○台風19号の復旧対策について、情報共有を行うなど緊密に協議を行い、指定管理者により、流木・土砂の撤去などに取組んだ。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について協議を行った。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	施設の老朽化などに関する情報共有を、指定管理者である飯能市体育協会（R2.4.1から飯能市スポーツ協会）・太平洋総業サービスと引き続き協議・検討していく必要がある。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

令和元年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全39事業中34事業あり、全体の87パーセントを占めました。

また、「期待をやや下回る（C評価）」が2事業ありましたが、「期待を上回る（S評価）」については3事業ありました。

全体的に、良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

<集計表>

所管課（館）	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	2	0	1	1	0	4
学校教育課 教育センター	0	4	4	0	0	8
生涯学習課	0	2	2	0	0	4
公民館	0	5	0	0	0	5
スポーツ課	0	5	0	0	0	5
図書館	1	5	2	0	0	8
博物館	0	2	2	1	0	5
事業数合計	3	23	11	2	0	39
評価の割合 （%）	7.7	59.0	28.2	5.1	0.0	100.0

（参考）平成30年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	5	21	6	4	0	36
評価の割合 （%）	13.9	58.3	16.7	11.1	0.0	100.0

5 教育委員会の活動状況と評価

令和元年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	14回	定例会及び臨時会の開催 定例会12回、臨時会2回
	教育委員会会議の傍聴者	延べ31人	定例会12回
	議事録の公開、広報・広聴活動	—	議事録(概要)、会議日程を ホームページへ掲載
	教育委員の研修会等への参加	延べ23回	「埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会」ほか

【教育委員会会議の議案数】

	項 目	議案数(件)	議案の内容
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	5	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	5	「飯能市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	8	「令和元年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0	
	人事に関すること	6	「令和2年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	8	「奨学金の貸与について」ほか
	合 計	32	

【評価】

開かれた教育行政を推進するため、市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供について、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

また、平成28年度から令和2年度までの計画である「第2期飯能市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局との連携を一層強化して計画の実現に取り組みました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、令和元年度の達成状況は次のとおりです。

第2期飯能市教育振興基本計画 数値目標の結果

【学校教育課】

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値（令和2年度）
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	（小学校）	90.1 %	87.6 %	88.0 %	92.6 %	95.0 %
	（中学校）	76.1 %	78.1 %	78.7 %	98.4 %	80.0 %
学校で取り上げた人権課題の数	（小学校）	123 件	91 件	88 件	73.3 %	120 件
	（中学校）	57 件	50 件	53 件	74.6 %	71 件
体カテスト5段階絶対評価で上位Aランク（A・B・C）の児童生徒の割合	（小学校）	81.4 %	81.7 %	83.8 %	104.8 %	80.0 %
	（中学校）	81.2 %	84.7 %	85.1 %	100.1 %	85.0 %
小・中学校応援団のボランティア総人数		1,724 人	1,695 人	1,616 人	80.8 %	2,000 人

【教育センター】

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値（令和2年度）
タブレットPCの配置校	（小学校）	7 校	12 校	12 校	100.0 %	12 校
	（中学校）	4 校	6 校	8 校	100.0 %	8 校

【学校教育課・生涯学習課・公民館】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値（令和2年度）
家庭教育学級への総参加者数	1,878 人	1,120 人	1,579 人	185.8 %	850 人

【生涯学習課】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値(令和2年度)
青少年育成活動の参加者数	258人	365人	252人	100.8%	250人
青少年ボランティア延べ人数	114人	24人	59人	118.0%	50人
公開講座参加者数	2,768人	3,288人	3,609人	100.3%	3,600人
出前講座開催件数	86件	137件	110件	157.1%	70件

【公民館】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値(令和2年度)
公民館主催事業数	347事業	334事業	319事業	102.9%	310事業
主催事業参加者数	22,097人	20,138人	14,302人	73.3%	19,500人

【スポーツ課】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値(令和2年度)
市民健康ウォーキング事業参加者数	1,228人	1,640人	626人	31.3%	2,000人
スゴ足イベントの参加者数	1,816人	2,621人	1,698人	48.5%	3,500人
飯能新緑ソーデーマーチ参加者数	20,304人	20,368人	19,537人	78.1%	25,000人
スポーツ施設利用者数	274,848人	295,445人	257,246人	87.2%	295,000人
学校体育施設開放事業における利用人数	118,204人	120,358人	120,010人	87.0%	138,000人

【図書館】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値(令和2年度)
図書館年間利用者数	109,898人	106,393人	106,182人	94.8%	112,000人
年間貸出点数	5.38冊	5.24冊	5.22冊	90.0%	5.8冊
図書館来館者数	234,216人	232,684人	228,970人	99.1%	231,000人

【博物館】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度	目標値(令和2年度)
ホームページ「地域の歴史情報」の項目数	6件	6件	9件	81.8%	11件
博物館資料整理済件数	68,075点	68,316点	69,358点	121.7%	57,000点
年間入館者数	4,846人※	41,533人	36,602人	122.0%	30,000人

※ 常設展示改装工事に伴う休館(H29.6.1~H30.3.31)のため

6 学識経験者の意見等

点検・評価にあたり、客観性・透明性を確保する観点から、外部評価者として、駿河台大学の教授2名から次のような御意見等をいただきました。

【各事業の目標設定と評価結果等に対する意見、助言】

- 学校給食において重要なのは、安全で良質な給食をどう提供し続けていくかである。それを保証するための行政の取り組みについて、説明会を開催することだけでなく、きちんと伝わったか、理解されたかという視点が必要である。
- 奨学金制度の改正を行っていただいたが、貸与というかたちを変えないのであれば、返還しやすい（返還してもらいやすい）仕掛け作りは引き続き必要である。
- 学校研究について、先進校の取り組みが、そのまま全ての学校に当てはまるものではない。理念を追求するあまりに、目の前にいる児童生徒を置き去りにしないよう、寄り添って指導していただきたい。
- 不登校児童生徒について、在籍率を目標値にすることは理解できるが、不登校には種々の理由があり、学校側の対応だけで減少させること自体に無理があるように思う。
- 校務支援システムの導入については、スタートラインに立っただけ。働き方改革は、これからである。今後に期待したい。
- 放課後子ども教室について、プログラムを設定する際には、参加者のアンケートのみでなく、不参加の理由を確認しておくことも大切である。また、公民館の学習活動支援について、放課後子ども教室と重なる部分がある。何か連携できることがあるのではないか。
- 生涯学習関連の各種イベントについて、何がきっかけで来場者が伸びたのかを振り返っておくと、次年度以降につながる。
- 公民館等の各種事業の情報発信について、若い人にアピールするならば、ツイッターやインスタグラムも検討してみてもは。
- ホッケーのまちづくりについては、活躍している飯能市の出身者を小中学校に招いて、実演や講演などの機会を設けると、より効果的ではないかと思う。
- 図書館での資料展示について、回数をこなすだけではなく、結果として利用が増えることや、利用者の満足度が上がることが大切である。
- 博物館でのパネル展について、小中学生の夏休みの自由研究や宿題に利用してもらうなどのアピールをすると、さらに利用率が上がるのではないか。また自然観察会については、対象を明確にするなど考慮してみてもどうか。

【総括】

- 各所管の評価結果については、概ね妥当である。
- 目標値が明確化されていない項目の評価は難しい（評価不能）。数値化が難しい項目があるが、これを工夫しておかないと、実務上での具体的なターゲットが不明確になってしまい、各所管の職員の努力が成果評価のところで報いられない。数値目標が成り立ちうる場所は、それに基づき、数値目標が図れないところは、わかりやすい達成目標を表現すると、市民の方々の理解や指示が得やすい。今後改善するよう、検討していただきたい。

7 おわりに

教育委員会の事務に関する点検・評価は、今年度で13年目となりました。本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう中・長期的な視点に立って、毎年、各所管が目標を掲げ事業展開を行っています。重点施策として評価シートに表記されていない事業もありますが、計画に基づき各所管で確実に事業を進めております。

評価結果については、2人の学識経験者から概ね妥当である旨の御意見をいただきました。また、更なる飯能市の教育行政推進のため、市民の視点に立った施策や、中長期的な仕掛け作り、所管を超えた事業の連携など、きめ細やかなアドバイスや貴重な御意見をいただきました。

令和2年度は、飯能市教育振興基本計画の最終年度となります。これまでの施策の達成状況を振り返り、各事業の有効性・必要性・方向性を見定め、令和3年度から始まる第3期飯能市教育振興基本計画の新たな目標に向け、事業を見直ししていくことが求められています。

学識経験者の御意見を踏まえ、今後も教育委員会では、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、計画に基づきより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。